

平成23年11月2日 公共施設再生に向けたシンポジウム

# 「みんなで担う公共施設再生」アンケート結果

## シンポジウム・アンケート概要

- ・開催名称: 公共施設再生に向けたシンポジウム「みんなで担う公共施設再生」
- ・開催日時: 平成23年11月2日(水曜) 18時20分～20時45分
- ・開催場所: 市民会館
- ・開催内容: 基調講演、パネルディスカッション、会場との意見交換
- ・調査対象: シンポジウム参加者
- ・調査内容: シンポジウムの内容および公共施設再生、市庁舎建設、その他行政一般に関する意見・感想
- ・参加者数: 197名
- ・回答者数: 111名(内 市内居住者80名)
- ・回答率: 56.3%
- ・調査実施: 経営改革推進室(エンジンルーム)

## アンケート結果

### ■目次■

(1)お住まいは	2
(2)性別は	3
(3)年齢は	3
(4)あなたは公共施設再生に向けたシンポジウムがあることを何で知りましたか。	3
(5)本日の内容についてご意見・ご感想をお聞かせください。	
①基調講演「公共施設老朽化問題への決断」について	4
②パネルディスカッション「公共施設再生に向けた取り組み」「市庁舎のこれから」について	4
③会場との意見交換について	4
(6)限られた財源の中で、公共施設の改築・更新を行うためには、施設の統廃合は避けて通れないと考えています。賛成・反対を含め、皆様の考えをお聞かせください。	
・回答の集計	5
・ご意見(主なものを抜粋して掲載)	5
(7)公共施設の管理運営、維持保全には経費がかかります。サービス水準を維持しつつ、運営コスト削減のためにも、民間活力(指定管理者制度・民間委託等)を導入することについて、賛成・反対を含め、皆様の考えをお聞かせください。	
・回答の集計	7
・ご意見(主なものを抜粋して掲載)	7
(8)市庁舎本庁舎は、老朽化・分散化・バリアフリーの問題など、多くの課題を抱えており、市民の皆様にはご迷惑をお掛けしています。また、3月11日の東日本大震災の被害を受け、市では、「みんなでつくる市庁舎」をコンセプトとして、早急に検討を進めているところです。市庁舎の今後について、皆様の考えをお聞かせください。	
・回答の集計	8
・ご意見(主なものを抜粋して掲載)	8
(9)本日の内容や、市のサービス全般について、皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。	
・ご意見(主なものを抜粋して掲載)	9

## (1)お住まいは

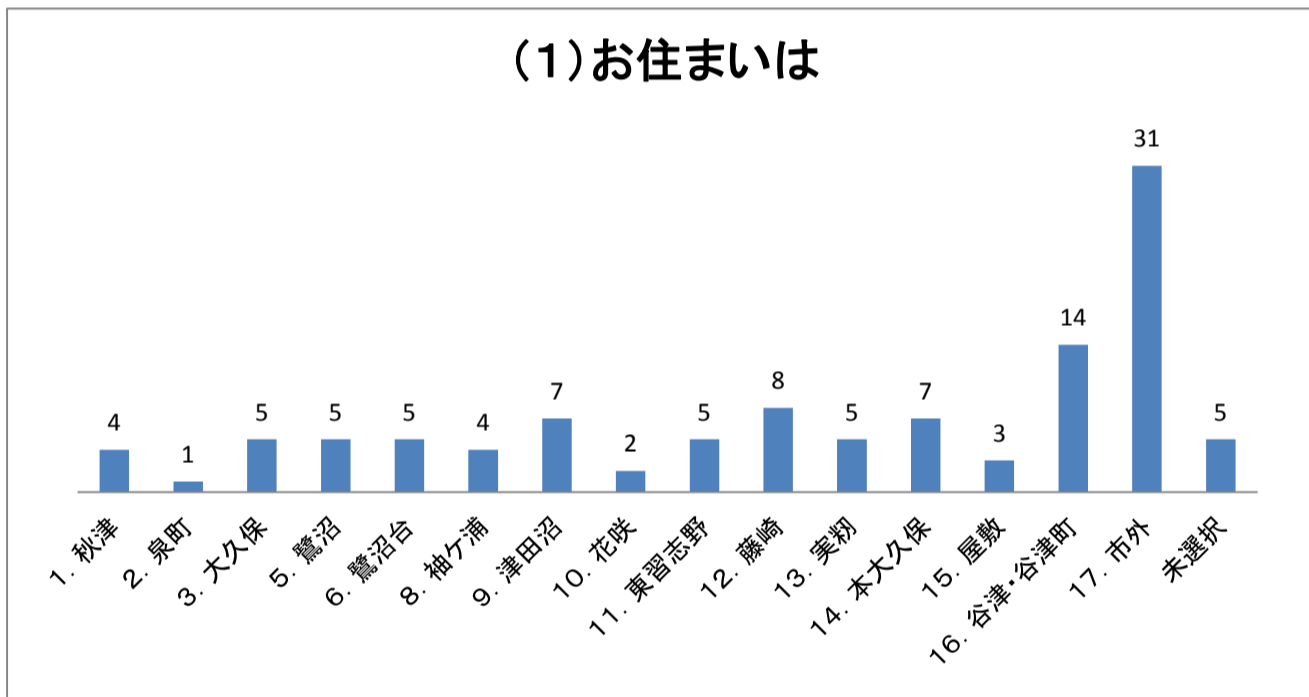
### 【回答の集計】

選択肢	人数(人)	割合
1. 秋津	4	3.6%
2. 泉町	1	0.9%
3. 大久保	5	4.5%
4. 香澄	0	0.0%
5. 鷺沼	5	4.5%
6. 鷺沼台	5	4.5%
7. 新栄	0	0.0%
8. 袖ヶ浦	4	3.6%
9. 津田沼	7	6.3%
10. 花咲	2	1.8%
11. 東習志野	5	4.5%
12. 藤崎	8	7.2%
13. 実籾	5	4.5%
14. 本大久保	7	6.3%
15. 屋敷	3	2.7%
16. 谷津・谷津町	14	12.6%
17. 市外	31	27.9%
未選択	5	4.5%
計	111	100.0%

※市内居住者計 80人(72.1%)

・・・県内13人、県外7人、不明11人

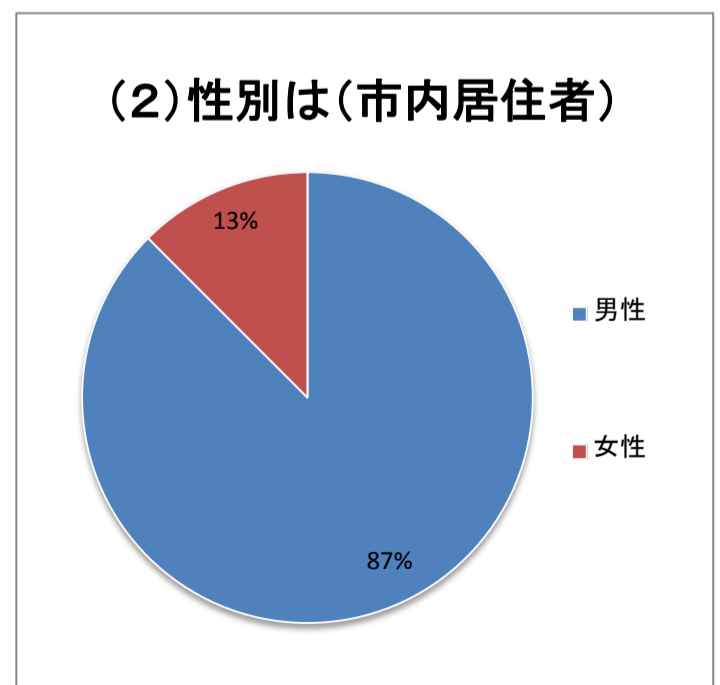
・・・アンケートの回答内容を踏まえ、市内居住者として集計しています。



※4. 香澄、7. 新栄については参加者なしの為グラフに記載なし

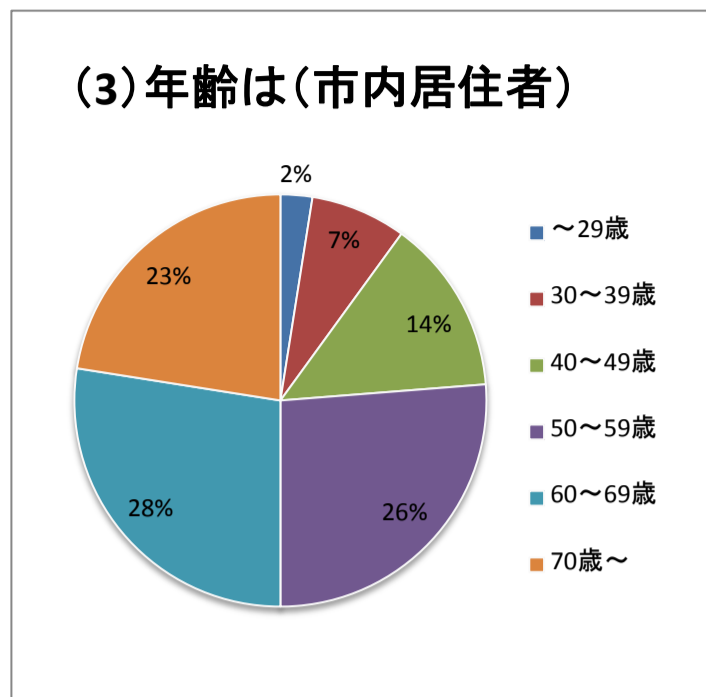
## (2)性別は

選択肢	市内居住者		市外居住者		市内・市外計	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
男性	70	87.5%	27	87.1%	97	87.4%
女性	10	12.5%	4	12.9%	14	12.6%
計	80	100.0%	31	100.0%	111	100.0%



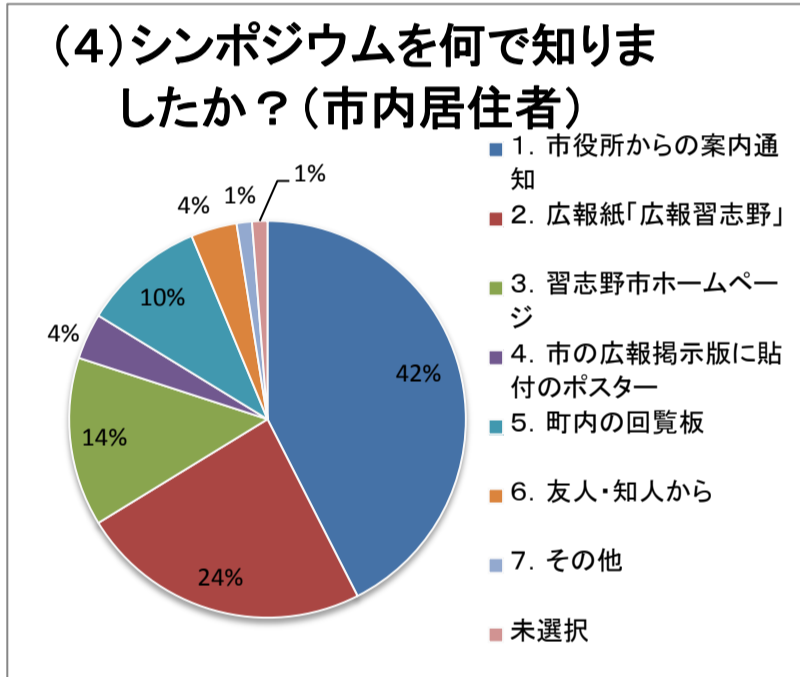
### (3)年齢は

選択肢	市内居住者		市外居住者		市内・市外計	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
～29歳	2	2.5%	6	19.4%	8	7.2%
30～39歳	6	7.5%	6	19.4%	12	10.8%
40～49歳	11	13.8%	8	25.8%	19	17.1%
50～59歳	21	26.3%	6	19.4%	27	24.3%
60～69歳	22	27.5%	4	12.9%	26	23.4%
70歳～	18	22.5%	1	3.2%	19	17.1%
計	80	100.0%	31	100.0%	111	100.0%



### (4)あなたは公共施設再生に向けたシンポジウムがあることを何で知りましたか。

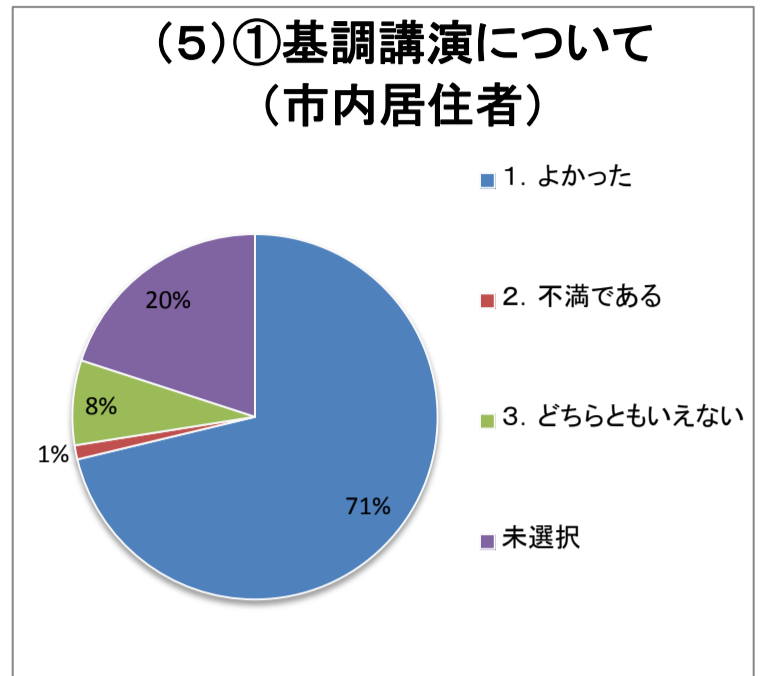
選択肢	市内居住者		市外居住者		市内・市外計	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
1. 市役所からの案内通知	34	42.5%	0	0.0%	34	30.6%
2. 広報紙「広報習志野」	19	23.8%	2	6.5%	21	18.9%
3. 習志野市ホームページ	11	13.8%	9	29.0%	20	18.0%
4. 市の広報掲示版に貼付のポスター	3	3.8%	0	0.0%	3	2.7%
5. 町内の回覧板	8	10.0%	0	0.0%	8	7.2%
6. 友人・知人から	3	3.8%	7	22.6%	10	9.0%
7. その他	1	1.3%	13	41.9%	14	12.6%
未選択	1	1.3%	0	0.0%	1	0.9%
計	80	100.0%	31	100.0%	111	100.0%



**(5)本日の内容についてご意見・ご感想をお聞かせください。**

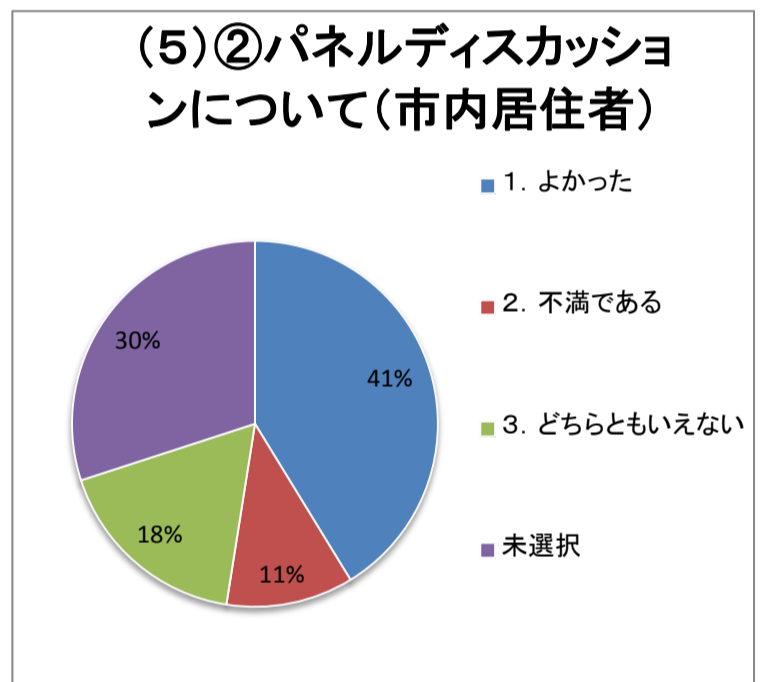
**①基調講演「公共施設老朽化問題への決断」について**

選択肢	市内居住者		市外居住者		市内・市外計	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
1. よかった	57	71.3%	26	83.9%	83	74.8%
2. 不満である	1	1.3%	0	0.0%	1	0.9%
3. どちらともいえない	6	7.5%	1	3.2%	7	6.3%
未選択	16	20.0%	4	12.9%	20	18.0%
計	80	100.0%	31	100.0%	111	100.0%



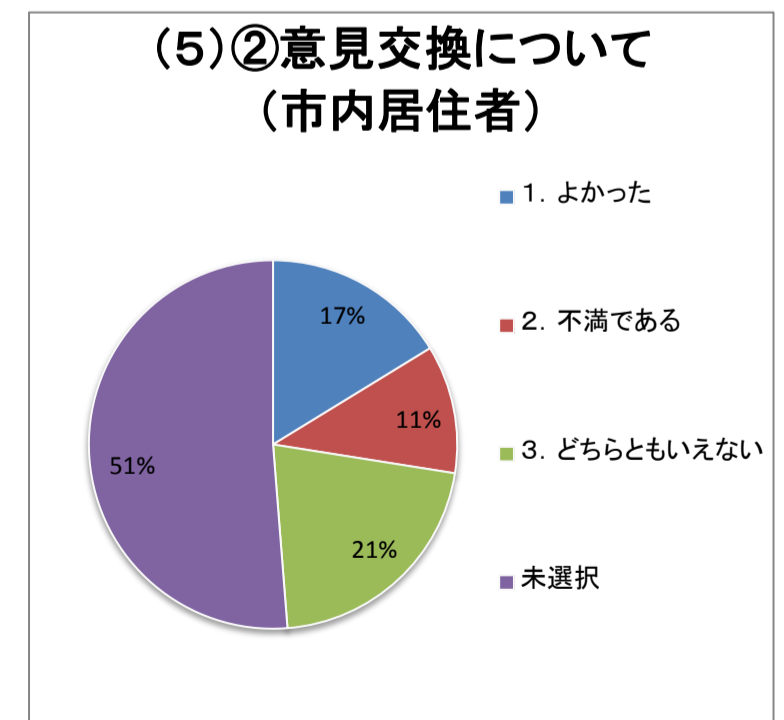
**②パネルディスカッション「公共施設再生に向けた取組み」「市庁舎のこれから」について**

選択肢	市内居住者		市外居住者		市内・市外計	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
1. よかった	33	41.3%	13	41.9%	46	41.4%
2. 不満である	9	11.3%	6	19.4%	15	13.5%
3. どちらともいえない	14	17.5%	7	22.6%	21	18.9%
未選択	24	30.0%	5	16.1%	29	26.1%
計	80	100.0%	31	100.0%	111	100.0%



**③会場との意見交換について**

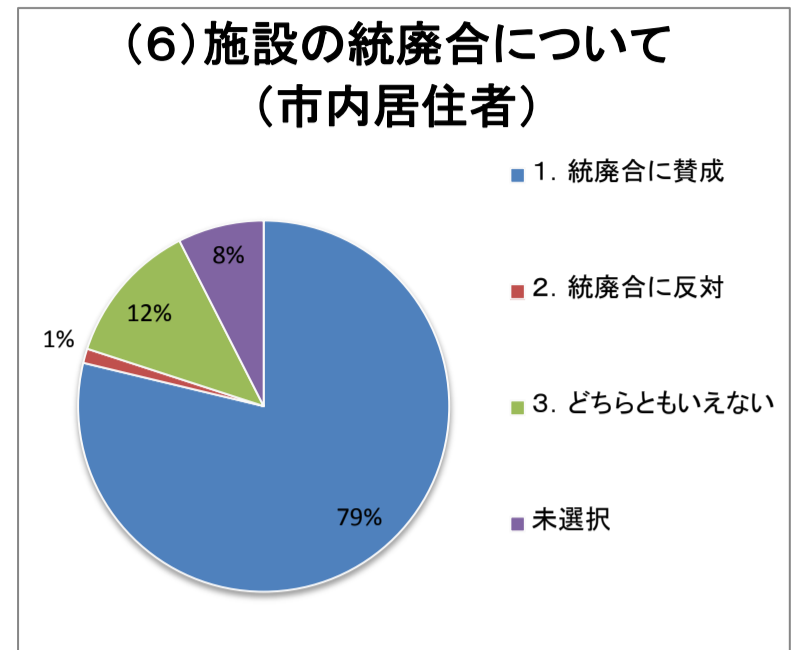
選択肢	市内居住者		市外居住者		市内・市外計	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
1. よかった	13	16.3%	3	9.7%	16	14.4%
2. 不満である	9	11.3%	8	25.8%	17	15.3%
3. どちらともいえない	17	21.3%	8	25.8%	25	22.5%
未選択	41	51.3%	12	38.7%	53	47.7%
計	80	100.0%	31	100.0%	111	100.0%



**(6)限られた財源の中で、公共施設の改築・更新を行うためには、施設の統廃合は避けて通れないと考えています。賛成・反対を含め、皆様の考えをお聞かせください。**

**【回答の集計】**

選択肢	市内居住者		市外居住者		市内・市外計	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
1. 統廃合に賛成	63	78.8%	26	83.9%	89	80.2%
2. 統廃合に反対	1	1.3%	0	0.0%	1	0.9%
3. どちらともいえない	10	12.5%	2	6.5%	12	10.8%
未選択	6	7.5%	3	9.7%	9	8.1%
計	80	100.0%	31	100.0%	111	100.0%



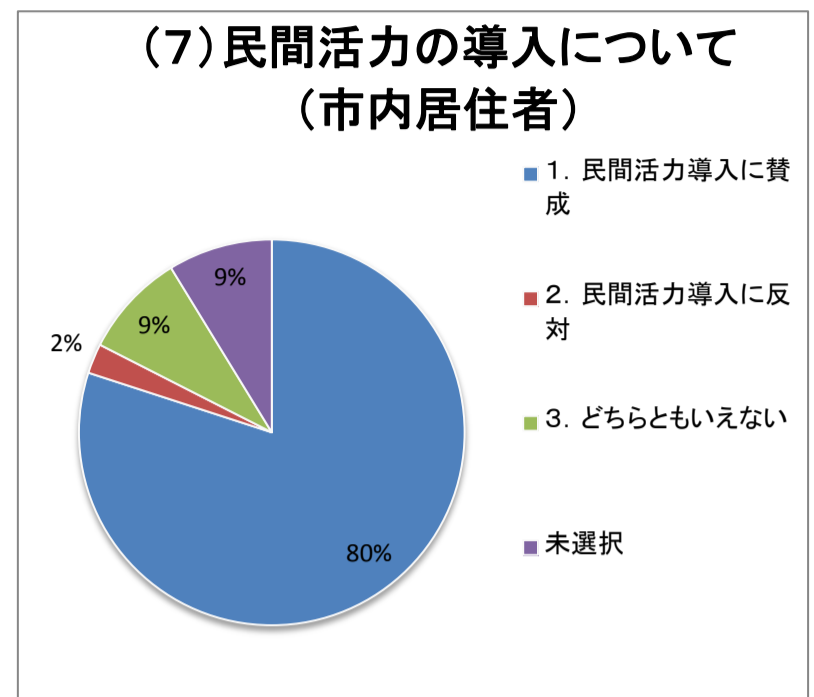
**【ご意見】 ※市内居住者の意見の内、主なものを抜粋して掲載しました。**

選択肢	主な意見(抜粋)
1. 統廃合に賛成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の多機能化、地域の再編は避けて通れないことと理解している。</li> <li>・習志野市の財務状況を考えるとやむを得ないのではないかと思います。</li> <li>・既得権の問題があり、簡単には進まないと思うが、統廃合を進めなければ、財政破たんとなる。</li> <li>・公共施設再生についてはスタートラインについた段階だと思います。これから特に議論される内容と、その都度市民に分かりやすくフィードバックが必要と思う。</li> <li>・今後も少子高齢化が進むことを踏まえて、空き教室(学校の)を活用したり、幼保の統合を性急に進めていった方がいいと思います。</li> <li>・少子高齢化に伴い、日本の生産人口は減少の一途を辿る。当然習志野市も同様であり、限られた財源の中で、当然の考え方である。</li> <li>・大きな建物(必要以上な)を建てる必要はないと考えるが、100年先を考えて安心安全で機能的・地域の活性化を含めた人が集まる統廃合した施設を検討すべきだと思う。</li> <li>・改築・更新は、今後の地震対策も含めると、まったなしなのではないでしょうか。市民の安全安心、市税の効率的運用を考えれば、統廃合に賛成します。</li> <li>・利便性が良くなると思います。</li> </ul>
2. 統廃合に反対	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政がサービスをする範囲を明確にし、市民との合意の上で施設配置を見直すべき</li> <li>・高齢化が進むので、小型のサービス拠点は増やす必要があるかも知れない。</li> </ul>
3. どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の見直しという視点で検討が必要では。いきなり統廃合の検討には懸念あり</li> <li>・統廃合が避けられない最大の理由は財源不足であるが、この財源不足を少しでも改善する方策を考え、実行することが必要である。財源不足改善策を行政はどのように考えているのか明確にし、その改善によってどの程度の統廃合の削減が可能か明確にすべきである。財源不足改善策として、徹底的な人件費削減を行うべきである。その上で統廃合の必要性を議論すべきである。人件費を20%削減すれば統廃合が相当避けられるだろう。</li> <li>・少子高齢化が進展する中で、耐震性を考慮した公共施設を改築、更新する必要がある。</li> <li>・従来から役所はランニングコストを軽視し、かえって耐震性等の規則改正に鈍い反応を示してきた。</li> <li>・統廃合については、地域的特性を考慮し、プライオリティを示した上での判断となり、現在は一般論との理解はしつつも、一概には論じられない。</li> <li>・説明不足なので。質問では、「施設の統廃合は避けては通れないと考えています。」の中身が分からない。金の問題なのか、機能の問題なのか、又、両方なのか。</li> <li>・どのように議論するか？その方法をうまくデザインすることが大切。</li> </ul>
未選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余りにも専門的なので、理解しにくいところがあった。</li> </ul>

**(7) 公共施設の管理運営、維持保全には経費がかかります。サービス水準を維持しつつ、運営コスト削減のためにも、民間活力(指定管理者制度・民間委託等)を導入することについて、賛成・反対を含め、皆様の考えをお聞かせください。**

**【回答の集計】**

選択肢	市内居住者		市外居住者		市内・市外計	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
1. 民間活力導入に賛成	64	80.0%	23	74.2%	87	78.4%
2. 民間活力導入に反対	2	2.5%	0	0.0%	2	1.8%
3. どちらともいえない	7	8.8%	4	12.9%	11	9.9%
未選択	7	8.8%	4	12.9%	11	9.9%
計	80	100.0%	31	100.0%	111	100.0%



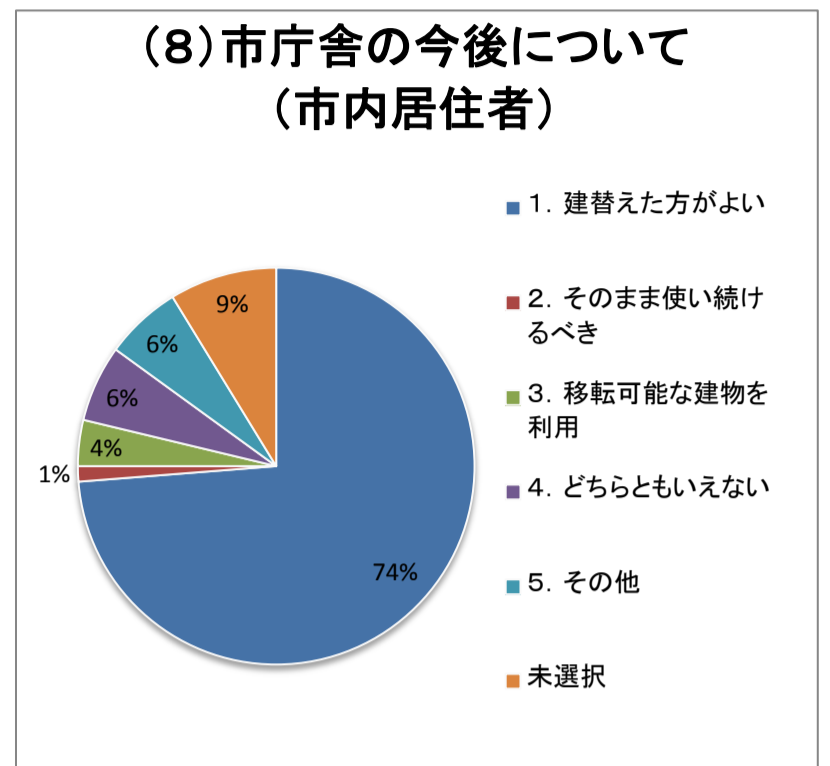
**【ご意見】 ※市内居住者の意見の内、主なものを抜粋して掲載しました。**

選択肢	主な意見(抜粋)
1. 民間活力導入に賛成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間でやっていることは任せていくべきです。すべての行政が責任を持つことは不可能だし、肥大化するだけです。</li> <li>・維持保全には最小の経費で最大の効果を、直営経営主義は古く、可能な限り民間活力を導入し、市民の利用に充分答えるのが第一である。</li> <li>・公民館、図書館(実施中)、幼稚園、保育所では早急に指定管理者制度の導入や民営化を実施すべきである。このことが人件費の削減に直接寄与するものであり、寄与させるべきである。</li> <li>・民間委託する事により競争原理が働き、サービスが良化する。</li> <li>・民間で蓄積されたノウハウを享受できる。</li> <li>・戦後、日本国民の意識の中に、かなりの業務を行政に任せ、困ったものは行政という思考が根付いてしまった様に思います。戦後復興、成長の時代には、そうしたことも必要だったのかも知れません。しかし、もはや時代が違います。民ができること、市民ができること、しなければならないこと、しっかり切り出していくべきと考えます。</li> <li>・地元活性化につながる様な手法で民間活力を利用する考えに賛成</li> <li>・民間に任せ時のモニタリングについて、市の中でしっかり精査を行った上で行ってください。</li> <li>・ただし、民間に任せて良い分野とそうではない分野とを明確にしていきたい。</li> <li>・ランニングコストまで含めた上でご検討ください。</li> <li>・現在は、公共施設でも民間でできることは多くあると思います。官から民へという流れと、市税の支出平準化も含め、PFIも含めた、むしろPFI方式での施設整備を強く望みます。</li> <li>・市民へのサービス向上の配慮は忘れないで欲しい。</li> <li>・公共施設にも減価償却の考え方を導入して、ファシリティマネジメントの考え方を導入し、効率的な運用を図るべき。専門のマネージャーを育てる、全体最適化を図るマネジメント</li> </ul>
2. 民間活力導入に反対	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的にはコストが高くなる。</li> </ul>
3. どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いい面、悪い面を検討しなければならない。そもそも、民間とは何か？説明不足、具体的なものがない。費用対効果(便益)を計算、算定したことがあるのか。</li> <li>・どの企業に委託するかの問題になると思います。</li> </ul>
未選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間と公のあり方はあくまで別である。公として、市民の税金でやるのであれば、民に頼らず、最低限の施設として本当に必要なものを市民の納得のもと行うべきである。</li> </ul>

**(8)市庁舎本庁舎は、老朽化・分散化・バリアフリーの問題など、多くの課題を抱えており、市民の皆様にはご迷惑をお掛けしています。また、3月11日の東日本大震災の被害を受け、市では、「みんなでつくる市庁舎」をコンセプトとして、早急に検討を進めているところです。市庁舎の今後について、皆様の考えをお聞かせください。**

【回答の集計】

選択肢	市内居住者		市外居住者		市内・市外計	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
1. 建替えた方がよい	59	73.8%	21	67.7%	80	72.1%
2. そのまま使い続けるべき	1	1.3%	0	0.0%	1	0.9%
3. 移転可能な建物を利用	3	3.8%	2	6.5%	5	4.5%
4. どちらともいえない	5	6.3%	1	3.2%	6	5.4%
5. その他	5	6.3%	2	6.5%	7	6.3%
未選択	7	8.8%	5	16.1%	12	10.8%
計	80	100.0%	31	100.0%	111	100.0%



【ご意見】 ※市内居住者の意見の内、主なものを抜粋して掲載しました。

◆「1. 建替えた方がよい」のご意見

意見種別	内容種別	主な意見(抜粋)
建て替えの必要性	防災拠点安心・安全	・災害時の拠点として最重要！
		・災害時の避難場所として、或いは、対策本部としての役割を果たすべく、場所(建物)として、市民の安全・安心の為に、耐震・免震等を考慮した建築物にする責任があると考えます。
		・震災で被災した、大槌町等の状況を考えると、行政機能の停止する可能性は極力排除すべきと考えます。
・庁舎の安全性、分散化による不便性、又事務所統合化による合理性等を考えると、建替えた方が良い。ただしバブル期に建設されたような豪華な建物である必要はない。		
・人命を含め、安全・安心の為に早急に建替えるべきだ。		
	分散化	・現在の分庁舎が複数ある状況は職務が非効率だけでなく、土地利用の面でも十分に活用していないと思うので、建替えた方がいいと思います。
	早急に建て替えるべき	・至急に建替えに取り掛かるべきである。
建て替えの意思決定について	市民の合意形成が必要	・公共施設全体の中での優先順位について、市民の中での合意形成をしてください。
	議論が必要	・100年先を見据えて本庁舎を建てるのか、フレキシブルに対応できるレンタルで対応するかという点も議論の余地がある。
建て替え案	複合施設として建て替え	・単純な建替え事業ではなく、「複合型行政サービス施設」として、市・県・国の出先機関等が複合的に入居する施設とすべき。拠って施設には汎用性を持たせたものにし、各機関の入退去の際にもフレキシビリティを持たせる。
	多機能型施設として建て替え	・規模や内容や利用、使用の方法等は検討の結果にしたい。(行政のみでなく、多機能混合となる施設でもよい。地域で行政の利便が出来る支所のようなものも一括して検討する。)
	市民会館と併せて更新	・JR津田沼空き前にある市文化会館もすでに老朽化していると思います。それと市庁舎の同一建物として更新されてはいいかがか。逆(現市役所に文化会館を併せてつくる)も検討余地あり。
	現庁舎の近くに建て替え	・位置は現施設の近くにすべきである。
新庁舎への希望	機能性・利便性	・行政庁舎特有の使い方が想定される建物だと考える。現在から将来を見据え、永く使え、使い勝手の良い建物にして欲しい。
	コスト削減	・維持管理費用を安価にする設備にすること。
	エネルギー	・市営の水道ガスを効率よく利用すると共に自然エネルギーも利用して欲しい。
	収益性	・収益が生まれる施設の一つになって欲しい。
	デザイン性	・フラットな建築で、他に誇れるようなデザイン環境を望む。
その他	跡地の売却	・計画は習志野高校跡地と聞いていますが、市庁舎と消防庁舎を建て替えた以外の土地は、市の有効活用というより、売却して建て替えの現資に充てるべきだと思います。売却等は、市で条件設定するなどして、学校・病院など、公益的な先に限定して欲しい。

## ◆「2. そのまま使いつづけるべき」のご意見

内容種別	主な意見(抜粋)
補修により対応	・私宅は50年近く住んでいる。今後30年は住む。メンテナンスが重要。

## ◆「3. 移転可能な建物を利用」のご意見

内容種別	主な意見(抜粋)
クレストホテルの活用	・旧クレストホテルを利用することができないか。
検討が必要	・建替え有りで検討を進めるべきではない。補強による長寿命化等を含めた対策も検討し、費用対効果を明確にした上で、最適な方法を決定すべきである。現在はあまりにも建替え有りが先行しているように感じる。

## ◆「4. どちらとも言えない」のご意見

内容種別	主な意見(抜粋)
分析・検討が必要	・本当に安全性に問題があるのか。再利用のアイデアは？使い分けのアイデアは？市民生活を安定させ、守るために核となる市庁舎の安全や、将来の安定をしっかりと定めなければならないので、それなりの、施設等の建て直しは必要と思う。分析、分類、研究を、どんどん具体的にすすめるべきであり、千葉工大建築・日大建築の活躍を期待したい。
建て替えは時間がかかる	・危険であるならば早急に、建替えは設計、建築費用がかかる。可能な建物に移転すべき。スピードがない。市民をあずけるものに情熱がない。
建替えより先に 取り組むべき課題がある	・市庁舎の建替えより先に行うべき業務がある。緊急かつ重要な課題を先ず実施せよ。→①次長・技監・副主査制度の廃止、②管理職試験の導入・優秀な人の登用、③不要財産の売り払い。特に企業局の排ガス田跡地は活用するか売却するかすみやかに決定すること。

## ◆「5. その他」のご意見

内容種別	主な意見(抜粋)
対応が遅い	・何で今頃？耐震基準の改正は昭和55年です。少なくとも昭和の時代より、例えば建替え、移転等を検討すべきであったと思う。
分散化による対応の検討	・すべてを一箇所にするのもどうかと思う。窓口の混雑とかを考えると、本庁舎でもできるが、他でも対応可能(分散化)の必要ではないかと思います。
プレハブによる対応の検討	・現在の分室のような建物と建てれば低コストで2～3年はもつのではないか。
市民への情報公開が必要(複数回答・1と3)	・機能を考えて市庁舎を建設という、先生の意見に賛成です。資金がないので、十分に検討してください。市民に現況をどんどん知らせる市は大切だと思います。市民は、協力をしたいと思います。



**(9)本日の内容や、市のサービス全般について、皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。****【ご意見】 ※市内居住者の意見の内、主なものを抜粋して掲載しました。**

意見種別	内容種別	主な意見(抜粋)
シンポジウムへの評価	基調講演が良かった	・パネルディスカッション、根本先生の講演は良かったです。公共施設再生の取組は知恵の出し合い、なるほどです。
	パネルディスカッションの例が良かった	・パネルディスカッションの明正小学校の例が良かった。やはり複合施設で良い。小学校のプールは民間のプールを利用して泳ぎを覚えてもらった方が子ども達は泳げる様になると思う。
	周知が必要	・皆さんの色々な考えを聞いて大変良かった。もっと多くの市民に知ってもらって、出来るだけ早い時期に機能重視で整備して欲しい。
	PFIの必要性	・非常に良いシンポジウムでした。 ・建て替えの際には、機能重視、そして、財政を考えた場合、PFI方式を中心に考える必要があると思います。
	官・民・市民の総力戦	・官・民・市民の総力戦の意味が大変良く分かった。
シンポジウムへの不満	パネルディスカッションへの不満	・パネルディスカッションは時間が少なかった。
		・パネルディスカッション→時間が充分でなかったこと、一部専門外の人達もおり、ディスカッションにならなかった。大きな議題に自由に話させた感があり、議論の方向性が見えず。
		・パネルディスカッションについて、早期に結論を出さなければならないものであるのに一般論的な話が多かった。
公共施設再生について	市のイニシアチブ	・全ての情報の公開&市民(住民)参加が前提。納得性でしょう。必要があれば金は出すでしょう。今までのまちづくりの失敗でしょう。利害関係の調整(事情をならすのが役所)困難であればトップが判断し、決断すること、説得できる能力が問われます。
		・トップランナーとして積極的な取組みを期待したいと思います。
		・公共、ユーザー、民間企業が各々WIN-WINの関係で施設整備は可能と考える。 ・民間企業のノウハウを活用するには、既得権益の排除や法律・条例を突破する気概が必要。
		・要望は多く、選択と決断(速く、しかも納得のいく説明をして実施へ向かって欲しい)が重要。
	PPPの必要性	・PPPは今推進しなければ、取り返しがつかない状態に陥ると思われまます。お金は無尽蔵ではありません。市役所職員の方も自信を持って、改革を押し進めてください。
	機能美を重視	・市の施設を、ステータスシンボルと考え、所有することにこだわっている。建築美から機能美へ発想の転換が必要と考える。特に、公務員や議員は、その傾向が強いのではないか？
	複合化	・液状化による建て替えを集合住宅化することで解決するという案が当市で進められているように聞きました。それは良いのですが、更に高齢化、単身化、老朽化していく一方の住宅、住居事情や、住まい方、生活のしかた、意識の変化(コレクティブハウス等)、又、実際にもっと簡素化、利便化等住居をより個人レベルの調整することで、より経済的にシンプルにできるなど、又、より複合化(幼稚園～学校、住まい、福祉施設、高齢者施設、病院、コミュニティ施設等)での社会化、経済化もはかれる、ことまで更に考え、アイデア、計画化を進められないでしょうか。
資産の有効活用	・クレストホテル等の遊休地や、なかよし幼稚園跡地等の資産も合理的総合的に考慮して、公共施設を再生して行って欲しいです。	
市の行政サービスについて	自己申告制度	・窓口サービスは他市に比べ良好 ・やる気のある職員は少ない。自己申告制度(特に管理職)を導入し、窓口業務の改善、事務職員の指導教育、事務改善等、数値目標を定め、実施して欲しい。 ・他の市町村、東京都は既に実施市であり、3リーダーが優秀ならば、行政はより効率的運営が可能だ。
	情報公開	・市長が選挙公約に掲げ、今も言っている「市民と一緒に考える」のキーワードを実現するために必要な情報公開が十分かどうか、行政自ら考えるべきである。まだまだ改善の余地が見受けられる。